

こどもの生活実態調査の結果について（ヤングケアラー部分抜粋）

5. 相談していない理由（複数回答可）

	調査数	相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談する人が身近にいない	家族のこのため話にくい	家族のこのことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても何も変わらない	相談した相手を困らせたくない	その他
全体	41人	31人	6人	3人	2人	2人	-	1人	2人	4人	4人
	100%	75.6%	14.6%	7.3%	4.9%	4.9%	-	2.4%	4.9%	9.8%	9.8%
小学5年生	24人	16人	5人	2人	1人	1人	-	-	1人	3人	3人
	100%	66.7%	20.8%	8.3%	4.2%	4.2%	-	-	4.2%	12.5%	12.5%
中学2年生	12人	11人	1人	1人	1人	-	-	-	-	-	1人
	100%	91.7%	8.3%	8.3%	8.3%	-	-	-	-	-	8.3%
高校2年生	5人	4人	-	-	-	1人	-	1人	1人	1人	-
	100%	80.0%	-	-	-	20.0%	-	20.0%	20.0%	20.0%	-

→相談していない理由を見ると、「相談するほどの悩みではない」、「家族以外の人に相談するような悩みではない」との回答が多い

6. まわりの大人に助けてほしいこと（複数回答可）

	調査数	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	その他	わからない	特にない
全体	69人	7人	3人	2人	1人	1人	3人	1人	3人	3人	-	11人	45人
	100%	10.1%	4.3%	2.9%	1.4%	1.4%	4.3%	1.4%	4.3%	4.3%	-	15.9%	65.2%
小学5年生	39人	4人	2人	1人	-	-	2人	-	1人	-	-	6人	25人
	100%	10.3%	5.1%	2.6%	-	-	5.1%	-	2.6%	-	-	15.4%	64.1%
中学2年生	22人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	-	4人	15人
	100%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	9.1%	-	18.2%	68.2%
高校2年生	8人	1人	-	-	-	-	-	-	1人	1人	-	1人	5人
	100%	12.5%	-	-	-	-	-	-	12.5%	12.5%	-	12.5%	62.5%

→まわりの大人に助けてほしいことは、「特にない」、「わからない」との回答が多い一方で、「自分の今の状況について話を聞いてほしい」との回答も一定数あった

■ 委員及び助言者からの意見

- ・お世話をするのが当たり前になっていたり、負担が生じていても「家族のことだから」という認識から、「相談するほどでもない」と感じている面もあるのではないかと
- ・北海道が高校に対して実施した別の調査では「お世話により負担が生じている」という生徒はもう少し多い印象がある。今回の調査では見えない潜在的なヤングケアラーがもっといるのではないかと
- ・回収率が低い部分があるため、設問の内容も含めてもっと有効な調査の実施方法について検討が必要ではないかと